

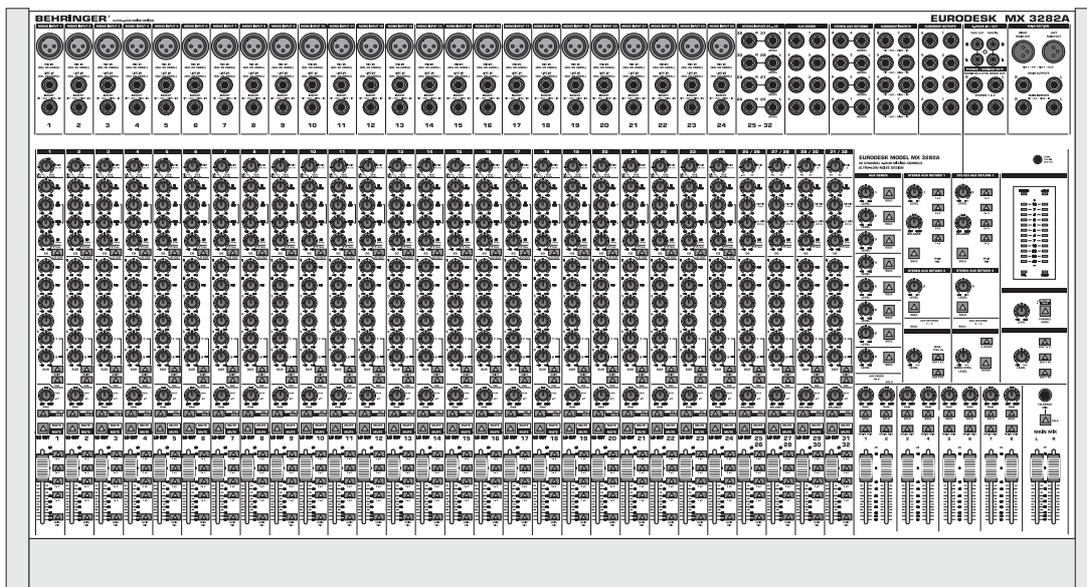
MX3282A

EURODESK®

取扱説明書

バージョン 1.1 2004 年 3 月

日本語版



www.behringer.com

安全にお使いいただくために

注意 感電のおそれがありますのでカバーその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際には当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。



警告 本機を水のかかる場所や湿気の多いところに置かないでください。火事や感電の原因となります。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前によくお読みください。

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

本機をご使用前に「安全のために」と取扱説明書を通してご覧ください。

説明書の保管

「安全のために」と取扱説明書は、一度ご覧になったあとも大切に保管してください。

警告に従ってください

製品及び取扱説明書に書かれている警告には、必ず従ってください。

指示に従ってください

取扱説明書およびユーザズ・ガイドに書かれている指示には必ず従ってください。

水分および湿気

本機は水の近く（浴槽、洗面台、流し台、洗濯槽の近く、湿気のある地下室やスイミングプールの近くなど）で使用しないでください。

換気

本器具は、適切な換気を妨げない場所を選んで設置してください。ベッドやソファのカバーなど、通風孔をふさぐ可能性のある場所や、空気の流れを妨げる造り付けの棚や、キャビネットといった場所には設置しないでください。

高温

本機は、電気ヒータや温風機器、ストーブ、調理台などの熱器具の近くや、アンプなどの熱源から離して設置してください。

電源

取扱説明書あるいは製品上に指定されたタイプの電源以外には接続しないでください。

電源コードの保護

電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたり、挟んだりしないようご注意ください。また電源コードやプラグ、コンセントおよび製品との接続には十分に注意を払ってください。

お手入れ方法

お手入れは必ず取扱い説明書にしたがっておこなってください。

長期間ご使用にならない場合

長期間ご使用にならない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物や水の侵入

通気孔から異物や水が製品内部に入らないようご注意ください。

故障

以下のような場合には当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷した場合。
- 本機内部に異物や水が入ったとき。
- 雨にぬれた場合。
- 正しく作動しない場合、もしくは性能に著しい変化をきたした場合。
- 本機を落下させてしまったり、筐体が損傷した場合。

修理

取扱説明書に書かれている以外の方法での修理は行わないでください。これ以外の修理については必ずサービス技術者にお問い合わせください。

1. このハンドブックについて

EURODESK MX3282A をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ☞ この説明書では装置の機能を理解するために必要となる専門用語が解説されています。必要に応じて再び読むために、説明書は一度読み終わったあとにも大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 製品の輸送

EURODESK は安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一、包装段ボールに損傷を発見した場合には装置外部の損傷についても確認を行なって下さい。

- ☞ 装置が万一故障した場合には、保証請求権が無効となるおそれがありますので当社へ直接返送せず、必ず販売店および運送会社へご連絡下さい。

1.1.2 使用の準備

- ☞ 本装置の設置は必ず専門家が行って下さい。設置および操作の際には本装置を完全な状態で作動させるため、作業者の接地を十分に確保してください。

- ☞ 過熱を防ぐため十分な換気の確保に留意し、**EURODESK** と電源アダプターを暖房などのそばに設置することは避けてください。

- ☞ 装置の使用時、ミキサーおよび電源アダプターが加熱することがありますが、これは装置の異常ではありません。

1.1.3 電源への接続

EURODESK 用電源アダプターは 2.5 HU の 19 インチフレームに組み込まれており、ミキサー後面の多極型のコネクターと接続されるようになっています。電源アダプターの設置には、クーラー周辺の十分な換気を確保するため 3 HU が必要です。

まず最初に電源アダプターを、EURODESK 後部に設けられた PSU (パワー・サプライ・ユニット) コネクター  に接続し、次に電源と接続してください。電源との接続には付属の電源ケーブルを電源アダプターの後部に差し込んでください。

- ☞ **EURODESK** の電源アダプターをコンセントに接続する前に、装置が供給電源に合わせて設定されていることを必ず確認してください。

- ☞ **EURODESK** をコンセントに接続されている電源アダプターに接続することは絶対に避けてください。必ず、最初にアダプターとミキサーを接続し、次にアダプターをコンセントに接続します。

- ☞ 電源アダプターの接続には必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

- ☞ すべての機器は、必ず接地が必要です。ご自身の安全のため、本体もしくは電源コードのアース接続を外したり無効にしたりしないでください。

1.2 使用されている記号などについて

スイッチ類、接続パネルおよび装置後面の図は別紙として付属しています。この別紙はハンドブックを読む際に理解の手助けとしてご利用下さい。

EURODESK に装備されているスイッチ類その他にはテキストおよび図に共通の通し番号がつけられています。

2. スイッチ類

2.1 モノ入力チャンネル 1 から 24

2.1.1 コネクターと GAIN コントローラー

全てのモノ入力チャンネルには使用目的に合わせて、6.3 mm ジャックタイプのバランス型ライン入力端子 [4] または XLR タイプのバランス型マイク入力端子 [3] が装備されています。

また全てのモノ入力チャンネルには、フェーダー、イコライザーおよび Aux Send 前段へのインサート・パスが付属し、センドおよびリターンパスには 6.3 mm ステレオジャック [5] が装備されています。インサート・パスは外部のダイナミック・プロセッサーやイコライザーその他の装置を接続するために使用します。チャンネル内の信号経路はインサート・ジャックで一端途切れ、信号はプラグ先端から外部へ導き出され、外部装置での処理が行われた後に再びプラグのリング部を介してチャンネル内に戻ります（「インサート」）。なお、信号経路の中断はインサート・ジャックにプラグが差し込まれた場合にのみ行われます。

コンデンサー型マイクに必要な +48 V のファンタム電源は EURODESK 後部に設けられた PHANTOM スイッチ [2] を押すことによって起動することができます（全てのモノラル・チャンネル用電源は一括起動）。

 ファンタム電源の起動の際には、スイッチ投入時の雑音発生を防止するため再生機機を必ずミュートに切り替えてください。

マイク入力アンプ [6] 用の GAIN コントローラーは 10 から 60 dB までの間で調節可能。6.3 mm ジャックの使用時には入力ゲインの調節は +10 から -40 dB の間で行なうことができます。最も一般的な作動レベル -10 dBV と +4 dBu はつまみ上の目盛りマークされています。

2.1.2 イコライザーとロー・カット・フィルター

全てのモノ入力チャンネルには 3 バンドイコライザーとロー・カット・フィルター（ハイ・パス・フィルター）が装備されています。これら 3 つのバンドは最大 15 dB までのブーストまたはカットを行なう個とができます。コントローラーが中央位置にある場合、イコライザーはニュートラル、つまり使用されていない状態となります。カット・オフ周波数の上限 (HI コントローラー [8] と下限 (LO コントローラー [11]) はそれぞれ 12 kHz と 80 Hz です。中域 (MID コントローラー [9]) はセミ・パラメトリック・イコライザー。このイコライザーは 1 オクターブの固定幅、調整は FREQ コントローラー [10] で 100 Hz から 8 kHz までの間で行なうことができます。ロー・カット・フィルターの起動は LO CUT スイッチ [7] で行い、75 Hz 以下の周波数の低音ノイズの発生を防ぎます。このフィルターの肩特性は 18 dB/Octave です。

2.1.3 Aux Send セクション

EURODESK はエフェクト機器への出力またはモニターミックス用に 8 つの Aux パスを装備しています。全ての Aux パスはモノラル、ポスト EQ 出力です。Aux パスへの出力レベルは 6 つのポテンショメーター [12] を使用して個別に設定可能。各 Aux Send は +15 dB までの増幅を行なうことができます。Aux パス 1 と 2 はプリフェーダー（フェーダー前段）出力です。5/6 と 7/8 は PRE スイッチを使用してポスト（フェーダー後段）からプリフェーダー（フェーダー前段）に一括切替可能です。ポストフェーダー出力はエフェク

ト・パスとしての使用に適し、プリ・フェーダー出力はこれに対してモニターミックス用に向いています。SHIFT スイッチ [13] はさらにもう一組のポテンシオメーターからの出力を選択的に Aux パス 5/6 または 7/8 に出力するのに使用されます。

2.1.4 フェーダー・セクション

全ての入力チャンネルにはそれぞれ 2 つの LED が設けられています。Signal Present-LED [16] (-20) は信号の入力を、PEAK-LED [15] は各チャンネルのオーバードライブを表示します。この LED が常に点灯している場合には GAIN コントローラーで入力レベルを下げてください。

PAN コントローラー [17] はステレオ・フィールド内のチャンネル信号の位置。もしくはその信号が偶数／奇数いずれのサブグループに属しているかを示します。

Solo セクションの CHANNEL MODE スイッチのオン／オフにより、PFL/SOLO スイッチ [18] を使って音声信号を Mono-PFL-Solo パスに出力 (CHANNEL MODE が押されていない場合、PFL-Solo 機能)、またはポスト・フェーダー／パノラマの Stereo-Solo パスから信号を取り出す (CHANNEL MODE が押されている場合、Solo In Place-Solo 機能) ことが出来ます。いずれの場合にも、信号のレベルは Main Mix セクションのディスプレイに表示されます。PFL/SOLO スイッチが) 押されている場合にはそのチャンネルの LED [19] が点滅します。

 **GAIN** コントローラーを使用したレベルの基本調整には **PFL-Solo** 機能を利用し、**Solo In Place-Solo** は使用しないでください。

 **Solo In Place-Solo** 機能の場合とは異なり、**PFL-Solo** 機能使用時には **Main Mix** 出力の信号は影響を受けません。(これは **Aux** パスとサブグループについても同様です。)

MUTE スイッチ [20] は特定の Main Mix またはサブグループに対応するチャンネルおよび Solo In Place パスをミュートに切り替えます。MUTE スイッチがオンになっている場合には付属の LED [21] が点灯します。フェーダー前段からの出力信号を受けている Aux パスは MUTE スイッチがオンになっている場合にもその影響を受け無いことに注意してください。

「Routing」は特定のチャンネルからの出力が接続されている信号経路の選択を意味します。EURODESK には ROUTING スイッチ [22] によってアクセスできる 5 つのステレオ・バスが装備されています。Main Mix バスは MAIN MIX スイッチによってオンに切り替えられ、またサブグループの投入には ROUTING スイッチ 1-2、3-4、5-6 および 7-8 を使用します。

Main Mix バスまたはサブグループ・バス内の信号レベルは最終的にチャンネル・フェーダー [23] によって決定されます。

2.2 ステレオ入力チャンネル 25/26 から 31/32

ステレオ入力チャンネルにはモノ入力チャンネルとほぼ同様のスイッチ類が装備されています。コネクタ、イコライザーおよび BALANCE コントローラーがモノラル・チャンネルの場合とは違っています。その他の共通のスイッチ類については 1.2.1 「モノ入力チャンネル 1 から 24」の項目を参照してください。

2.2.1 コネクタ

各ステレオ・チャンネルには左右のチャンネル用に 2 つのラインレベル入力端子 (6.3 mm ステレオジャック [24]) が設けられています。左側のジャックのみが使用されている場合にはチャンネルはモノラル・チャンネルとして機能します。

ステレオ・チャンネルの入力感度設定は各ステレオ入力チャンネルの GAIN コントローラーで行われ、+/-20 dB の範囲で調整することができます。

2.2.2 イコライザー

ステレオ入力チャンネルは 4 バンド・イコライザーを装備しています。HI と LO の各バンドの特性はモノ入力チャンネルの場合と同じです。HI MID コントローラー [25] は 3 kHz に設定されている中域高音部のブースト／カットの調整に使用します。LO MID コントローラー [26] は 500 Hz に設定されている中域低音部の調整用です。

2.2.3 BALANCE コントローラー

モノラル・チャンネルの PAN コントローラーは、ステレオ・チャンネルの場合には BALANCE コントローラー [27] に置き換えられています。

このコントローラーの機能は、チャンネルがモノラルで使用されている場合には PAN コントローラーと全く同じように機能します。

ステレオでの使用時には BALANCE コントローラーは、信号がサブグループまたは Main Mix に出力される前の左右各チャンネルの割合を決定します。BALANCE コントローラーが右端まで回されている場合、ステレオ信号の右側音声のみが選択されたバスに出力され、左側音声は全く出力されません。

2.3 Aux Master

2.3.1 Aux Master センド

縦の列には Aux バスに出力される信号グループである Aux Send 1 から 8 までの出力コントローラー [28] が並んでおり、調整はマイナス無限大から +15 dB の範囲で行なうことができます。各 Aux Send には SOLO スイッチ [29] が装備され、オンの状態でそれぞれの Aux Send 信号を Solo バスに出力します。これらのスイッチがオンに切り替わると SOLO コントロール LED [30] が点灯します。

2.3.2 Aux Returns リターン

Aux Master センドの右側には、追加のモノラル/ステレオ・ライン入力として使用することもできる 4 つの Stereo Aux リターンが設けられています。Return 1 および 2 のスイッチ類は全く同様に構成されています。入力ゲインの調整は LEVEL コントローラー [31] で行い、マイナス無限大から +20 dB までの範囲で変更することができます。BALANCE コントローラー [32] は音声のステレオフィールド上の位置、もしくは信号が奇数・偶数いずれのサブグループに属するかを決定します (2.1.4 「フェーダー・セクション」および 2.2.3 「BALANCE コントローラー」の項目を参照してください。)。この Aux リターンの下には Solo-LED [34] が設けられ、その上部に装備された 2 つの SOLO スイッチ [33] または [37] のうちの 1 つがオンに切り替えられると同時に点灯します。Aux リターン信号はこの場合、Solo バスに出力されます。

Routing スイッチ [35] は各 Aux リターン信号を Main Mix またはサブグループ 1/2、3/4、5/6 および 7/8 に出力 (同時に双方への出力も可) します。

Aux リターン 3 と 4 は Main Mix に固定され、LEVEL コントローラーは入力ゲイン [36] の設定、SOLO スイッチ [37] は Aux リターンを Solo バスに接続します。

2.4 Phones セクション

EURODESK にはミキサー内の各信号をモニターするためのヘッドフォン・セクションが 1 つ設けられています。

ヘッドフォン出力のレベルの調整は LEVEL コントローラー [38] で行います。

MON/CTRL R スイッチ [39] は Monitor/Control Room ミックス、AUX 1-2 スイッチ [40] はプリ/ポスト・フェーダーの切替え可能な Aux センド 1/2、そして AUX 5-6 スイッチ [41] はポスト・フェーダー出力の Aux センド 5/6 をヘッドフォン出力に接続します。この切替えは個別もしくは一括して行なうことができます。

2.5 Monitor & CTRL Room セクション

このセクションは EURODESK のモニターに使用されます。

MON/CTRL LEVEL ポテンショ・メーター [42] はモニター・スピーカー (パワーアンプを Monitor & CTRL Room Out に接続します) の音量調節用。メインミックスはフェードアウトのチェックを行なえるよう、ミックスバスの後段で出力されます。

EURODESK の SOLO スイッチがオンになっている場合には、このほかに Solo/PFL バスのモニターを行なうこともでき、2-TRACK スイッチ [43] を押すと 2トラック入力のモニターが可能となります。2 トラック入力は基本的にステレオ信号のチェックを行なうためのバンド・リターンとして利用されます。

MON/CTRL LEVEL コントローラーを右端まで回すと、2 トラック入力は -10 dBV のレベルに設定されます。モニター機器がこれよりも高いレベルで作動している場合（例えば +4 dBu）にはこのコントローラーでゲインを下げてください。

 モニター音声の切替えは、ミックス作業などの際にも **PFL-Solo** 機能が利用できるよう **Main Mix** レコーディング出力に影響を与えないように設計されています。

このセクションには上記のスイッチ類のほかに、ステレオ信号のモノラル互換性をチェックするための MONO スイッチ [44] が設けられています。このスイッチの使用も Main Mix には何ら影響をあたえません。

2.6 Solo セクション

EURODESK は 2 つの異なる Solo モードを備えています。CHANNEL MODE スイッチ [46] は Mono-PFL から Stereo-Solo バスへの切替えに使用します。

Solo In Place

Solo In Place は主に個別の信号または信号グループをモニターするのに利用されます。SOLO スイッチをオンにすると選択された以外のモニター・パス上のチャンネルはミュートに切り替えられます。Solo 機能は本来の「SOLO IN PLACE」を行い、セレクトされた信号をステレオ・フィールド上に正確に再現します。Solo バスへの出力は PANORAMA ポテンショ・メーター、Auxセンド、ステレオ・レイン入力およびサブグループの後段で行われ基本的にポスト・フェーダー出力となっています。

PFL

PFL バスへの出力はチャンネルフェーダー（PFL = プリ・フェーダー・リスニング）または LEVEL ポテンショ・メーターの前段で取り出されます。PFL は入力ゲインの調整に使用されます。

チャンネルが Solo、PFL いずれのモードで使用されているかはレベル表示の下にある LED に表示されます：左側 = 黄色 = PFL、右側 = 赤 = Solo In Place を示します。Solo または PFL 信号用の LEVEL コントローラー [45] は通常、ミックスのレベルとの大きな差が生じないよう中央位置に設定され (Unity Gain) ています。

2.7 トークバック・セクション

内蔵のトークバック・マイク [55] はレコーディング・ルーム内またはステージ上の演奏者とのコミュニケーション用です。TALK キー [56] を押さえている間、マイクが起動され、トークバック・マイクのフィードバックを防ぐためにモニター・スピーカーのレベルは 20 dB カットされます。他のコミュニケーション信号経路はこの場合にも影響を受けません。

コミュニケーション信号のレベルは LEVEL コントローラー [47] で調整されます。トークバック信号は AUX 1-2 スイッチ [48] と AUX 5-6 スイッチ [49] および AUX 7-8 スイッチ [50] で個別または一括に Aux パス 1/2、5/6 および 7/8 に接続することができ、レコーディング・ルーム内の演奏者とヘッドフォンを通じて、もしくはステージ上の演奏者とそれぞれのモニターシステムを通じて会話することが可能です。

2.8 サブグループ

マルチトラック・レコーディングの際、各トラックにはサブグループ出力から音声信号が供給されます。4 つのステレオ（または 8 つのモノ）サブグループには全ての入力チャンネル、それにステレオ Aux リターン 1 と 2 から信号を出力することが可能です。サブグループのレベルはフェーダー [54] で調整します。各サブグループにも SOLO スイッチ [52] を使った Solo 機能が備えられ、SOLO スイッチが押されると Solo コントロール LED（サブグループ 4 と 5 の中間）が点灯します。ミキシングの際には MAIN MIX スイッチ [53] でサブグループを Main Mix に出力することができます。メインミックスのステレオ・フィールド内でのサブグループ信号のポジションは PAN コントローラー [50] で変更することができます。

2.9 Main Mix

マスター・セクション内の2つのフェーダー、LとR [57] は Main Mix レベルのチェックに使用されます。

3. レベル表示

Main Mix は2つのLED チェーン [68] を装備しています。このLED チェーンの最上部(クリップLED) はオーバードライブ (+28/+22 dBu バランス/アンバランス) を警告します。メイン・セクションのLED チェーンは Mono PFL (PFL-LED)、ステレオ Solo (SOLO-LED) または2トラック入力 (Monitor & CTRL Room セクションの2-TRACK スイッチがオンになっている場合) の表示にも使用することができます。+48 V-LED はファンタム電源の使用時、POWER-LED は EURODESK に電源が投入されている場合に点灯します。

 クリップ LED が点灯しないように注意しましょう。もし、この LED が点灯した場合にはメインフェーダー、グループフェーダーもしくはチャンネルフェーダーを使ってレベルを下げてください。どうしてもうまく行かない場合にはチャンネル付属の入力ゲインを使用します。オーバードライブの原因をチェックするには PFL 機能を利用しましょう。

 Solo/PFL モードでの使用時には 0 dB の表示は装置内部の作動レベル 0 dBu (0.775 V) に対応し、その他の場合には表示はメイン出力の信号出力レベル (+4 dBu) に設定されています。これは、もし単一の信号がメインに出力されている場合には Solo/PFL モードでの表示が 4 dB 高くなることを意味しています。

レベルディスプレイの上部には市販の 12 V ランプのために LAMP と表記されたコネクタ [69] が設けられています。

4. コネクタ

4.1 EURODESK 後部

ここでは EURODESK 後部のスイッチ・コネクタ類について紹介します。左下から開設を始めます。

ファンタム電源スイッチ [2]

コンデンサーマイクへの電源供給のために、+48 V DC ファンタム電源が装備されています。この電源はこのスイッチを押すと全てのモノ入力チャンネルに一括投入されます。

 ファンタム電源の起動中には絶対にマイクをミキサー (またはスピーカー) に接続しないでください。またファンタム電源投入の前には必ず Monitor-/PA スピーカーをミュートに切り替えてください。

DC Power In [1]

この多極コネクタは電源アダプターから供給される、+/-18 V (オーディオ)、+48 V (コンデンサーマイク用ファンタム電源)、+12 V (作業ランプ用コネクタ) それに +5 V (発光ダイオード) といった各種の異なる電圧を EURODESK に個別に送り込みます：

4.2 EURODESK コネクタパネル

ここでは EURODESK に装備されている多数の入出力端子についての解説をします。

 **EURODESK** のバランス型コネクタにはアンバランス型の機器を接続することも可能です。この場合にはモノラルプラグを使用するか、ステレオプラグのリングとシャフトを接続して使用してください (XLR の場合には **Pin 3** をフリーにしてください)。

モノ入力チャンネル 1 から 24

インサート・ポイント [5] : 6.3 mm ジャック、アンバランス型、入出力 (センドおよびリターン) は同一のジャックに接続、Tip = 出力、Ring = 入力、Shaft = シールド

ライン入力 [4] : 6.3 mm ジャック、バランス型、Tip = hot (+)、Ring = cold (-)、Shaft = Shield

マイク入力 [3] : XLR、バランス型、Pin 1 = Shield、Pin 2 = hot (+)、Pin 3 = cold (-)、ファンタム電源の供給をお忘れなく。

ステレオ入力チャンネル 25 から 32 [24]

4 組のステレオペア、6.3 mm ジャック、アンバランス型、Tip = hot (+)、Shaft = シールド

Aux センド [58]

6.3 mm ジャック、アンバランス型、Tip = hot (+)、Shaft = シールド

ステレオ **Aux** リターン [59]

4 組のステレオペア、6.3 mm ジャック、バランス型、Tip = hot (+)、Ring = cold (-)、Shaft = シールド

サブグループ・インサート (インサート・ポイント) [60]

サブグループ信号のインサート用。6.3 mm ジャック、アンバランス型、入出力 (センドおよびリターン) は同一のジャックに接続、Tip = 出力、Ring = 入力、Shaft = シールド

サブグループ・出力 [61]

マルチトラックレコーディング用に最適。6.3 mm ジャック、アンバランス型、Tip = 出力、Shaft = シールド

2 トラック入出力 [62]

カセットレコーダーや DAT への接続のためのピンジャックを装備、出力信号 = Main Mix

Monitor □・**Control Room** 出力 [63]

この端子へ出力される信号はモニタースピーカーのアンプへ接続します。6.3 mm ジャック、アンバランス型、Tip = 出力、Shaft = シールド

ヘッドフォン出力 [64]

2 つのヘッドフォン用。6.3 mm ジャック、Tip = 左側音声、Ring = 右側音声、Shaft = シールド

メイン・インサート (インサート・ポイント) [65]

エフェクト等の Main Mix 出力信号へのポストフェーダー・インサート用。6.3 mm ジャック、アンバランス型、入出力 (センドおよびリターン) は同一のジャックに接続、Tip = 出力、Ring = 入力、Shaft = シールド

Main Mix 出力 (6.3 mm ジャック) [66]

6.3 mm ジャック、アンバランス型、Tip = 出力、Shaft = シールド

Main Mix 出力 (XLR) [67]

XLR、バランス型、Pin 1 = シールド、Pin 2 = hot (+)、Pin 3 = cold (-)、最高出力レベル : +28 dBu

4.3 プラグの構成

使用の際には非常に多くのケーブルが必要です。以下の図に EURODESK 使用の際のプラグの正しい構成を示します。

 ハムの発生を防ぐため、全ての出力にはアースが設けられていません。

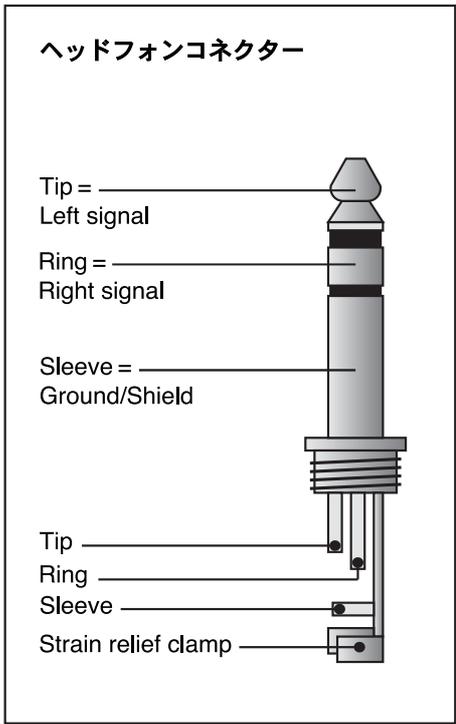
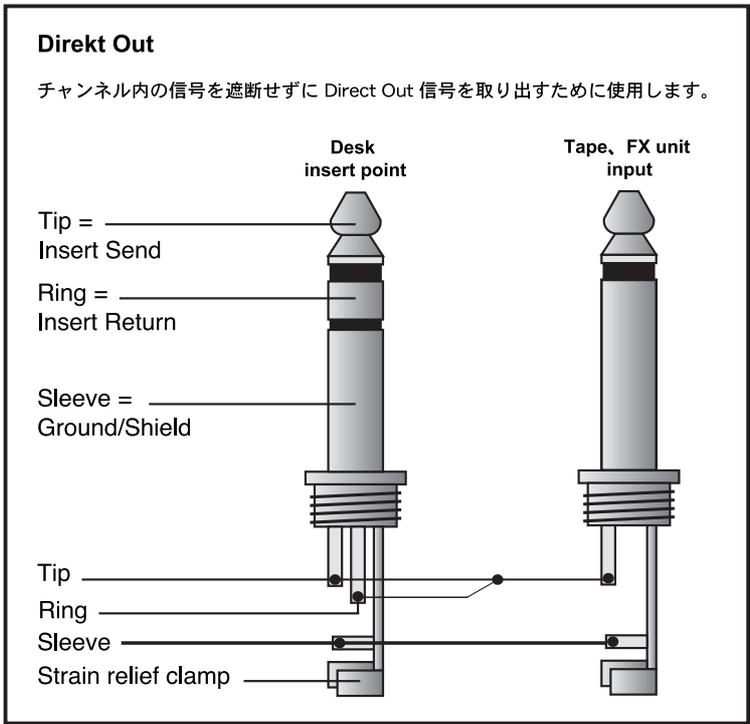
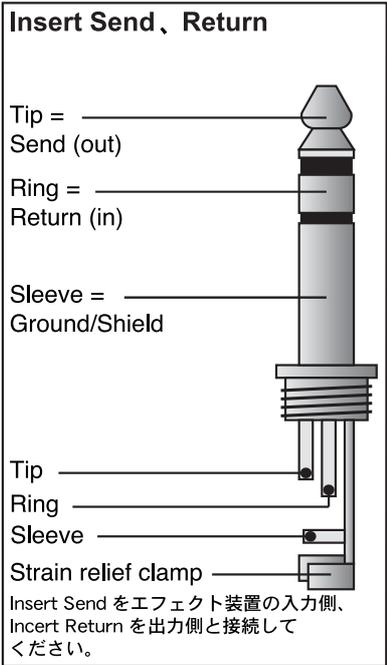
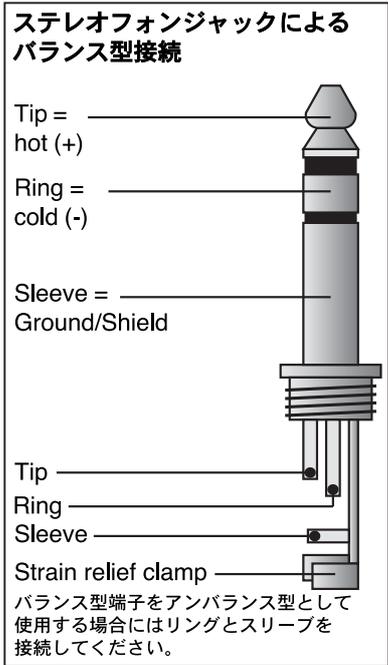
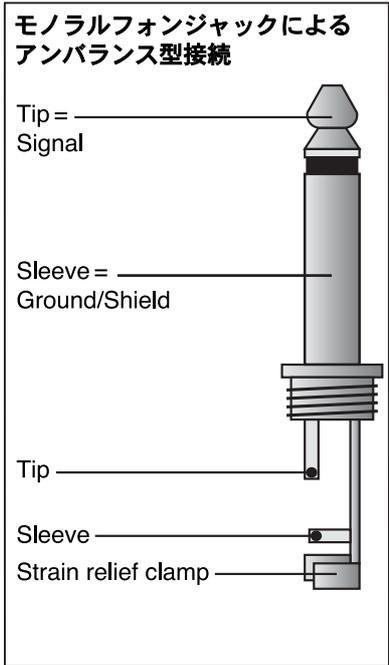


図 4.1: 各種プラグの比較

5. テクニカル・データ

入力チャンネル	電子バランス入力、別系統入力
マイク入力	-129.0 dBu、150 Ohm 入力インピーダンス
Mic E.I.N. (22 Hz から 22 kHz)	-117.3 dBq、150 Ohm 入力インピーダンス -132.0 dBu、入力ショート -122.0 dBq、入力ショート
ひずみ率 (THD & N)	0.007 % / +4 dBu、1 kHz、周波数レンジ 80 kHz
増幅範囲	+10 dB から +60 dB
最高入力レベル (Mic)	+12 dBu
ライン入力	電子バランス
増幅範囲	+40 dB まで Unity
最高入力レベル (Line)	+22 dBu
チャンネルフェーダー調整範囲	+10 dB から -85 dB
Aux センド	
増幅範囲	+15 dB まで Unity
イコライザー	
Hi シェルビング	12 kHz、+/- 15 dB、Q = 2 Octave
Hi Mid ベル (チャンネル 25 から 32)	3 kHz、+/- 15 dB、Q = 2 Octave
Mid セミ・パラメトリック (チャンネル 1 から 24)	100 Hz bis 8 kHz、+/- 15 dB、Q = 1 Octave
Lo Mid ベル (チャンネル 25 から 32)	500 Hz、+/- 15 dB、Q = 2 Octave
Lo シェルビング	80 Hz、+/- 15 dB、Q = 2 Octave
ロー・カット・フィルター	75 Hz、18 dB/ Octave
チャンネル・インサート	
最高入出力レベル	+22 dBu
チャンネル・オーバートーク	1 kHz で -95 dB
サブグループ	
ノイズ	低音ノイズ、フェーダー設定 0 dB で -105.0 dBr (リファレンスレベル: +4 dBu)、 -92.0 dBr (リファレンスレベル: +4 dBu、全ての入力チャンネル使用中、 フェーダー、Unity Gain、ミュート) -87.0 dBr (ref.: +4 dBu、全ての入力チャンネル使用中、フェーダー、Unity Gain)
サブマスター出力	
最高出力レベル	+22 dBu バランス/アンバランス
フェーダー出力範囲	+10 dB から -85 dB
MAIN MIX セクション	
ノイズ	低音ノイズ: フェーダー設定 0 dB で -102.0 dBr (リファレンスレベル: +4 dBu) -92.0 dBr リファレンスレベル: +4 dBu、全ての入力チャンネル使用中、 フェーダー、Unity Gain、ミュート) -87.0 dBr リファレンスレベル: +4 dBu、全ての入力チャンネル使用中、 フェーダー、Unity Gain)
最高出力レベル	+28 dBu バランス、+22 dBu アンバランス
Aux リターン	
増幅範囲	+20 dB まで Unity
Aux センド	
最高出力レベル	+22 dBu
一般	
ひずみ率 (THD & N)	+4 dBu で 0.007 %、1kHz、周波数レンジ幅 80 kHz
周波数レンジ	20 Hz から 40 kHz、+/- 1 dB 各入力それぞれの出力に接続: 10 Hz から 120 kHz、+/- 3 dB
外形寸法 / 重量	
ミキサー本体	
寸法 (高さ×幅×奥行)	約 44/90 mm x 1015 mm x 527 mm
重量 (ミキサー本体)	約 18 kg
電源アダプター	
寸法 (高さ×幅×奥行)	約 86 mm x 435 mm x 246 mm
重量 (電源アダプター)	約 7 kg

BEHRINGER 社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。